

愛知県ハンガリー友好協会会報

2017年秋号

《 2017年度通常総会と懇親会 》

早稲田みか（大阪大学教授）

2017年10月16日、名鉄グランドホテル11階「柏の間」において、2017年度通常総会と懇親会が行われました。

副会長の賀来芳弘さんの司会のもと、衆議院議員選挙の選挙期間中のため欠席の藤川政人会長（参議院議員）にかわり、理事の寺西睦さん（愛知県議会議員）が議長に選出され、議事が進行しました。



寺西睦先生

事務局長の志村美佐子さんから2017年度の事業と収支決算の報告があり、承認されました。続いて、2018年度の事業計画案、予算案、役員案が審議されて、いずれも満場一致で承認されました。役員に異動がありました。長年理事をつとめ、ハンガリーとの子どもの絵の交換事業などに尽力し、協会に多大な貢献をしてくれた黒川ドーラさんが理事を退任しました。新しく理事として冨田智容子さん（ピアニスト）が就任しました。



司会：賀来さん

2017年度もたくさんの事業を行いました。11月には小牧市・小牧市教育委員会主催の親子で楽しむ美術館「ハンガリー展」を、12月にはグヤーシュをつくってクリスマス会を催しました。メインの行事である6月の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」では、駐日ハンガリー特命全権大使のパラノビチ・ノルバートさんとハンガリー日本友好協会会長のヴィハル・ユディットさんをお迎えし、「ピアノの調べとトランシルヴァニア地方の伝統文化」と題し、ピアニスト赤松林太郎さんのピアノ演奏と、伝統手芸研究家の谷崎聖子さんの講演が行われました。



事務局長：志村

また、子どもの絵や刺繍サークルの展示が行われました。さらには、パラノビチ・ノルバート大使およびハンガリー日本友好協会会長ヴィハル・ユディットさんとともに大村秀章愛知県知事を表敬訪問したり、7月には第3回ハンガリー刺繍サークル作品展「マチャー刺繍」を開催するなど、設立20周年にふさわしい記念すべき年になりました。

来年度も引き続き、クリスマス会、ハンガリーフェスティバル、ハンガリー刺繍サークル、ハンガリー語入門講座、ハンガリーとの絵画交換などを行う予定になっています。会のさらなる発展のために、会員のみなさまの積極的なご参加とご協力をお待ちしています。

総会に引き続き、ハンガリー大使館文化・教育担当のナジ・アニタさんの講演が行われました。「ハンガリーの世界遺産を再発見」と題された講演では、スライドを使いながら、ハンガリーの世界遺産をハンガリーの歴史とともに紹介してくれました。アニタさんは名古屋大学に留学されたり、デンソーで通訳の仕事をしていたこともあり、パラノビチ大使同様、名古屋にたいへん縁のある方です。



アニタさん

講演のあとは、今回理事に就任した富田智容子さんがすばらしいピアノ演奏を披露してくれました。リストの曲を演奏したいがためにピアニストになったという富田さん。リストの曲3曲が演奏され、迫力ある名演奏に圧倒されました。



ピアニスト富田さん

その後、懇親パーティでは、田中志典さんの音頭で、ハンガリーワインで乾杯、ハンガリーサラミなど、おいしい食事と会話を楽しみました。事務局長の志村美佐子さんが出席者のみなさんを紹介し、みなさんそれぞれハンガリーとの関わりや苦労話などをおもしろおかしくお話しされ、おいおいに盛りあがりました。

その後、懇親パーティでは、田中志典さんの音頭で、ハンガリーワインで乾杯、ハンガリーサラミなど、おいしい食事と会話を楽しみました。事務局長の志村美佐子さんが出席者のみなさんを紹介し、みなさんそれぞれハンガリーとの関わりや苦労話などをおもしろおかしくお話しされ、おいおいに盛りあがりました。



世界遺産を通して歴史の紹介

- ・ベーチ初期キリスト教遺跡
- ・バンノンハルマ修道院
- ・ブダベスト
- ・ホローケー村(伝統文化)
- ・アッグテレク鍾乳洞
- ・トカイワイン産地
- ・ホルトバージ大平原
- ・フェルトー湖



乾杯



和やかに懇親会が始まりました。
ハンガリーワイン赤白と
マンガリツァサラミも
テーブルに。



協会設立当時の会員から、今年入会されたばかりの会員まで、おしゃべりが弾みます。



全員で記念写真

《 小牧市民まつり参加 》

10月21日(土)の小牧市民まつりに参加、小牧山会場「夢・チャレンジげんき村！」でハンガリーのブースを出しました。22日(日)は台風のため中止になりました。ビーズのネックレス、カロチャのボールペンなどのハンガリーの物産販売コーナーと、らいおんの指人形作り、ぬり絵やルービックキューブなどの子どもの遊びコーナーで、雨にもかかわらず子供たちが大勢立ち寄って下さって楽しみました。



《 子どもアート万博 2017 》(協力事業)



12月9日(土)、10日(日)11:00~17:00 名古屋市中区栄のナディアパーク(デザインセンタービル)で「子どもアート万博2017」が行われます。主催は公益財団法人名古屋市文化振興事業団です。お子さんを対象とした事業で世界各国の文化を紹介するイベントに当協会も協力させていただくことになりました。8F ビデオルームで『ハンガリーの名作ショートムービー』として「耳がチェック柄のうさぎ」と「ラチとらいおん」を上映します。ハンガリーの子供たちの絵も展示し、マレーク・ペロニカさんの絵本も紹介します。ぬり絵や指人形、ルービックキューブで遊ぶこともできます。

会員の皆様もお子様、お孫様、お友達をお誘いくださり是非お立ち寄りください。

先着順

8F

定員各回 **20名**

ビデオルーム「ハンガリーの名作ショートムービー」

ハンガリーの絵本作家マレーク・ペロニカのアニメ作品を上映します！
ぬり絵や指人形の体験コーナー、ハンガリー発祥のパズル・ルービックキューブなど、あそべるプログラムもいっぱい！

<p>日程 12/9(土)</p> <p>内容 「耳がチェック柄のうさぎ」</p> <p>時間 ①11:00~12:00 ②13:00~14:00 ③15:00~16:00</p>	<p>日程 12/10(日)</p> <p>内容 「ラチとらいおん」</p> <p>時間 ①11:00~12:00 ②13:00~14:00 ③15:00~16:00</p>
---	--

《ハンガリー料理でクリスマス会》

“ THE ハンガリーの食卓 ”

12月17日(日) 9:00~名古屋国際センター3F 第1研修室で「ハンガリー料理でクリスマス会」を行います。



メニューはお肉の煮込み料理プルクルト pörkölt、ポテトサラダ krumpli saláta とパラチンタ palascinta です。

パン、マンガリツァサラミ、ハンガリーワイン付で会費は1,500円(中学生以下800円)です。

お料理の指導は今回も遠藤綾女さんです。

煮込むだけ！漬けるだけ！巻くだけ！とても簡単に美味しいハンガリー料理が出来上がります。

皆さん一緒に作りましょう！ランチタイムからでもOKです。

お友達もお誘いいただき、是非ご参加ください。



《アニメおやじのハンガリー紀行—天空の城ラピュタを訪ねて》Ⅲ

会員：寺崎 博光

【ブダペスト市内観光】

次の日、7月24日はブダペスト観光です。娘夫婦はもろもろの手続きやら、友人に会うとかで別行動をとることになり、午前10時に聖イシュトヴァーン大聖堂の裏で別れました。「午後4時にここで会いましょう。何かあったら携帯に電話してください」と娘が地図と電話番号を書いたメモを渡して、さっさと行ってしまいました。



聖イシュトヴァーン大聖堂

大聖堂のあたりは観光の中心です。ドナウ川、くさり橋、王宮の丘、ゲッレールトの丘、アンドラーシ通りと英雄広場、国会議事堂とヴァーツイ通り、マルギット島と見どころ満載です。時間は充分あり、バスと徒歩で回れます。

私が最初に向かったのは土産物店です。友人のKさんに頼まれたピリ辛パプリカの粉末の瓶詰「PISTA (ピシュタ)」を購入するためです。Kさんは最近ハンガリーへ旅行したそうで、そのときにお土産に買ったピシュタを義兄にあげたところ大いに気に入られ、「兄のためになんとか買ってきて貰えないだろうか。一瓶でも二瓶でも結構だから」と言われ、兄貴思いのKさんの心に打たれ、ハンガリーに着いたら何よりも先に買うことに決めていました。



黄色いトラムとブダペスト西駅

「ピシュタはハンガリー人には日用食品だから、土産物店ではなくてマーケットで売っています。ヴァーツイ通りを中央市場へ向かって歩き、バーガーキングの少し手前にCBAという店があります。この店は食料品を始め、サラミ、ワイン、チョコレートと何でも売っています。三階はファミリーレストランになっているので、気軽に食事ができますよ」と、娘が教えてくれました。

ヴァーツイ通りを、ウォッチングしながら歩くこと20分、目指すCBAがありました。12個入りのピシュタを箱ごと買いました。喜ぶKさんの顔が浮かんでくるようです。ついでに高級チョコレートをお土産用にとって、三階のレストランへ。

このレストランはトレイに好きな料理を載せて、最後にレジでお金を払うというシステムです。金額はレジに表示されますのでその金額を払うだけ。煩わしいチップもいりません。ここは日本人の観光客にお勧めです。私のような英語が話せない一人歩きの老人でも、安心してハンガリー料理を楽しむことができました。

ここではハンガリー料理の定番のグヤーシュ（牛飼いのスープ）とパラチンタを食べました。パラチンタとはクレープのことです。ひき肉をクレープで包んでパプリカソースをかけたものですが、ハンガリービールのドレヘルとよく合っておいしかったです。



レストランでの民族舞踊

【ドナウ川クルーズ】

ドナウ川沿いをほろ酔い気分で歩いていたら、エリザベート橋を過ぎたあたりで青年に声をかけられました。

「おっさん、おっさん、ドナウ川クルーズはいかがUSSか。安いよ、安いよ、1時間で4,100フォリントだよ。日本円で2,000円ぽっきりだよ」とか、なんとか言っているようです。

「よっしゃ〜、買った！」

「ケセナム（ありがとう）」「おっさん、あんた運がいいよ、あと10分で出発だよ〜」チケットを買ってパンフレットをもらおうと、「オーブダ」という名前の遊覧船に乗り込みました。



国会議事堂

ところが予定の時間になっても船は一向に出発する気配がありません。その間、乗客はどんどん乗ってきます。30分も過ぎた頃でしょうか「時間になりましたので出発します」と船内放送があつて、船は出発しました。

「うそつけ、少しでも多く儲けようと遅らせたんだろうが〜」と、いうことがどうでも良くなるくらい、クルーズは最高でした。

船着き場を出発した遊覧船は王宮を左手に見て、上流に向かってドナウ川の右岸をゆっくりと進んで行きます。ブダペストのシンボル「くさり橋」の下をくぐると、右手に壮麗な国会議事堂が見えてきました。バロックとネオゴシックの折衷主義様式の建築物だ

そうです。左手が王宮の丘です。議事堂の方向から、黄色い車体のトラム（路面電車）が川沿いに走ってきました。このトラムの車窓からドナウ川を見るのも素敵かなと思いました。




ゲッレールト温泉


ドナウ川にはマルギットという島があって、市民の憩いの公園になっています。この島を迂回したあたりから川の流れに乗って船足は速くなりますが、上流からもう一度この美しい景色を早足で見られるという、嬉しいおまけになりました。（つづく）

《 設立 20 周年記念事業 》

1997 年秋に愛知県ハンガリー友好協会が設立して 20 年になりました。
 (公財)愛知県国際交流協会から取材を受け機関誌「あいち国際プラザ」(2017.9 No.121)で当協会の活動が紹介されました。



愛知県ハンガリー友好協会
 ~ハンガリーと日本を繋いで、20年~




▲ ハンガリー語講座の様子

愛知県ハンガリー友好協会は、1997 年、ハンガリー出身の音楽家リストの楽曲を楽しんでいただく小牧でコンサートを開催したことから始まり、現在まで日本とハンガリーの友好の架け橋となるべく活動をしています。当初、会員は小牧・犬山の方を中心として 50 名くらいでしたが、現在は愛知県全体で 100 名以上の方に賛同いただいています。


主な活動としては、月に 2 回ハンガリー語入門講座、月に 1 回ハンガリー刺繍サークル、毎年 12 月にはハンガリー料理を楽しむクリスマス会を開催しています。ハンガリー語講座では、愛知県在住のハンガリー人を講師にお招きしています。教室では言語だけでなく文化や生活の違いなどもお話しいただけるので、ハンガリーのことをより深く知ることができます。また、2006 年からは犬山市の小中学生とハンガリーの子もたちとの絵画交換交流をしています。子どもたちは、絵からお互いの伝統行事や文化に触れられることを楽しんでいます。

6 月 11 日には、名古屋国際センターで毎年恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」が行われました。設立 20 周年記念事業として「ピアノの調べとトランシルヴァニア地方の伝統文化」と題し行われたイベントには立ち見の人が出るほど大勢の方が訪れてくださいました。交流会ではハンガリーのワインやサラミ・お菓子がふるまわれ、大いに盛り上がりました。

ハンガリーには親日家の方が多くみえますので、愛知県でもハンガリーの文化に触れる機会を増やし、2 つの国が繋がる活動を今後も続けていきたいと考えています。



▲ ハンガリーフェスティバルでのコンサート



▲ 絵画と刺繍

愛知県ハンガリー友好協会
 TEL / FAX : 0568-76-4347
 E-mail : ambt@hotmail.co.jp
 URL : <http://aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

今年は設立 20 周年記念事業としての「ハンガリーフェスティバル in 愛知」「第 3 回ハンガリー刺繍サークル作品展—マジョー刺繍」が盛大に行われました。また、設立 20 周年記念誌発行の準備も進んでいます。記念誌には関係者の皆様の寄稿文と 20 年間の活動報告を載せます。年が明けてから皆様のお手元にお届けできることでしょうか。今迄のご支援ご協力を感謝致しますとともに今後もどうぞよろしく願いいたします。